

2月の休館日: 1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、25日(木)
 開館時間(全館) 午前10時～午後6時

みやま市立図書館公式「Twitter」「Instagram」をご活用ください

図書館では情報発信として SNS を活用しています。ミニ特設コーナーの紹介など利用者の皆さんに役立つ情報を速やかに発信していますので、ぜひ「いいね!」、フォローをお願いします。

ツイッター
 (@miyamalibrary)



インスタグラム
 (@miyamalibrary)



図書館ホームページで資料を探ることができます

みやま市立図書館のホームページでは、資料の検索および予約、貸出期間の延長などさまざまな機能を利用することができます。この機会にぜひご利用ください。

※資料の予約、貸出期間の延長には、メールアドレスおよびパスワードの登録が必要です。

みやま市立図書館
 ホームページ



2月の催し・特設コーナー

場所	もよおし	日時	特設コーナー
みやま市立図書館 (瀬高館)	おはなし会	今月は中止します	
	日曜コンサート	14日(日)、28日(日) 午前11時30分～11時50分	一般 世界友情の日 児童 スイーツだいすき
山川市民センター図書館 (山川館)	おはなし会	今月は中止します	一般 旬を楽しもう 児童 おにはそと?おにはうち?
	市民ギャラリー-Kusu-Kusu (カフェスペース内)	7日(日)まで 松尾行洋 作陶展 19日(金)～28日(日) シンデレラと白雪姫と謎の王子展 (水彩画、アクリル画、ペン画などの展示)	
まいピア高田図書館 (高田館)	おはなし会	今月は中止します	一般 この気持ち、伝えたい! 児童 いろんなおにのおはなし

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容などが変更となる場合があります。その際は図書館ホームページでお知らせします。

新着図書紹介

※所蔵していない本は、リクエストでできるだけお応えしていきます。お気軽にお尋ねください。

<p>一般(み)</p> <p>感染症時代のマスクの教科書 ～的確に選んで、正しく着ける～ 飯田 裕真子、真鍋 葉子 / 著 (小学館)</p> <p>マスクは、自分を守り、周りの人も守るもの。マスク研究家・飯田裕真子と内科医・真鍋葉子が、マスクの基本と最新情報を写真やイラストを交えてわかりやすく解説。ウイルスから身を守る方法も伝える。</p>	<p>一般(み)</p> <p>楽しい雪の結晶観察図鑑 武田 康男 / 文・写真 (緑書房)</p> <p>ひとつとして同じ形のない雪の結晶。「雪の結晶のグローバル分類」を用いて日本で見られる雪の結晶 16 種を取り上げ、写真とともにその造形と魅力を紹介する。雪の結晶のつくりとしくみや、観察・撮影方法、コラムも収録。</p>
<p>児童(山)</p> <p>ひみつの妖精ハウス～魔法のカップケーキ～ ケリー・マケイン / 作、田中 亜希子 / 訳、まめゆか / 絵 (ポプラ社)</p> <p>妖精とケーキ屋さん始めます! ケーキをつくるのは、大切な〈任務〉を果たすため。だけど、おかしいの。妖精たち、なにかたくらんでる…? 小さな魔法を信じる、女の子のための物語。カップケーキのレシピ付き。</p>	<p>児童(山)</p> <p>学校で知っておきたい知的財産権 ～②権利をくわしく知ろう 法律編～ おおつかのりこ / 文、細野 哲弘 / 監修、藤原 ヒロコ / 絵 (汐文社)</p> <p>知的財産権の一部で、簡単に盗まれやすく、守るのが難しいといわれる「知的財産」。知的財産権が法律でどのようにさだめられているかについて、さまざまな事例を紹介し、マンガを交えてわかりやすく解説する。</p>
<p>絵本(高)</p> <p>もりねこ くさか みねこ / 文、品田 紗桜里 / 絵 (文研出版)</p> <p>あるところに、大きな大きなねこがいました。ほかの動物たちは、森のように大きなねこを怖がり、ねこの住む森にはだれも近づかなくなりました。何年もひとりぼっちだったもりねこの背中に、ある日、小鳥たちが飛んできて…</p>	<p>絵本(高)</p> <p>やっこさんのけんか 殿内 真帆 / 作・絵 (フレーベル館)</p> <p>折り紙で作った5つのやっこさん。それぞれ自分が一番だと言いだし、勝負することに。おすもうさんや紙ひこうき、船、風ぐるま、次々に変身して…。折り紙が色鮮やかに動く絵本。やっこさんなどの折り方も掲載。</p>

※TRC週刊新刊全点案内より (み)みやま市立図書館 (山)山川市民センター図書館 (高)まいピア高田図書館

人づくり つながりづくり 地域づくり



高校生(山門高校ほか)から勉強を学んだサマースクール



1年生から6年生の異学年で交流する縦割り班活動



感染症予防のため机の間隔を保ちながら、集中して学習する子どもたち



開校からもうすぐ一年です

瀬高小のみんなと、地域のみなさんと「つながり」を深めています

瀬高小学校が開校してもうすぐ一年になります。現在、子どもたちは元気に日々の学習活動や体験活動に取り組んでいます。

振り返ると今年度は、開校初年度ということに加え、新型コロナウイルス感染症の流行という前例のない事態も加わり、あわただしい日々での連続でした。臨時休校となり教育活動が制限されたことで、開校後の年間行事計画等は見直しを余儀なくされました。ようやく通常授業を開始できたのは六月になってからです。

三校の子どもたちが統合後どのように感じているのか気になるどころでした。そこでアンケートを実施したところ、「人数が増えたことによって友達が増えてよかった」「前年度の交流学习で顔を覚えていたのでスムーズに仲良くなれた」「学習でいろいろな考えがあって楽しい」といった声が聞かれました。新しい学校として少しずつ、子どもたちがつながってきている様子がうかがえます。全職員の心をひとつにして、子どもたち一人一人の良さを伸ばし、地域に愛される学校となるよう一歩一歩しっかりと進んでまいります。今後も温かく見守っていただきますようお願いいたします。

瀬高小学校校長 大坪淑子



地域の皆さんに学習支援をしていただく瀬高小寺子屋



校区内の神社やお寺、高校などを訪問した「瀬高大好き大作戦」



ボランティアのみなさんと一緒に笑顔であいさつ運動